

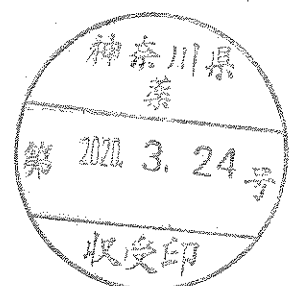
薬生薬審発 0324 第 2 号
令和 2 年 3 月 24 日

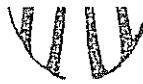
各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局
医薬品審査管理課長
（ 公 印 省 略 ）

医療用医薬品の有効成分の要指導・一般用医薬品への転用について

標記について、別添写しのとおり、日本製薬団体連合会会長宛て通知しましたので、その写しを送付します。





薬生薬審発 0324 第1号
令和2年3月24日

日本製薬団体連合会 会長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局長
医薬品審査管理課長



医療用医薬品の有効成分の要指導・一般用医薬品への転用について

厚生労働省では、セルフメディケーションの推進に向け、医療用から要指導・一般用医薬品への転用（スイッチ化）が望まれる成分について、要望を受け付け、「医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議」（以下「検討会議」という。）において、スイッチ OTC 医薬品とすることの妥当性を評価すること等により、国民のセルフメディケーション実施における選択の幅が広がる取組を進めています。

スイッチ OTC 医薬品の候補となる成分の要望については、平成 28 年 8 月から要望を募集しているところです。この度、令和元年 12 月 18 日に開催された第 9 回の検討会議の議論を踏まえ、下記に示す成分のスイッチ OTC 化の妥当性に関する会議結果を厚生労働省のホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144557.html>）に掲載しましたので、貴傘下製造販売業者等に対し周知方よろしくお願いいたします。

記

	成分名	投与経路等
1	エペリゾン塩酸塩	経口
2	モサプリドクエン酸塩水和物	経口